

## 「猛吹雪の中の旅人」

感情的必要のトップテン Part4

今回の「感情的必要のトップテン」は、「支えられる必要」です。

### ●支える

「支える」ということは、問題を持っている人のそばに来て、一緒にその問題や悩みを負ってあげる事です。子供に関して言えば、親が前もって、子供にストレスのかかってくる時期を予想して、色々と助けてあげる事です。たとえば、学校のテストや発表会の時などです。もちろん予想できない出来事によって子供にストレスがかかってくる時もあります。そのような時にも、実際的な面で、又精神的な面で支えとなる事が大切です。子供の支えとなるためには、子供が心で感じている事をそのまま聞いてあげることです。仮に適切なアドバイスをあげる事ができなくても、子供の感じている事を聞いてあげることによって、子供の直面している問題や悩みを共に負うことができます。支えるとは、重荷を負うことです。

### ●ヒマラヤの山中で

昔、ヒマラヤの山地を猛吹雪の中、一つの村からもう一つの村へと旅行している人が二人いました。二人が深い雪の中を歩いていくと、倒れている人がいました。旅人の一人は「助けてあげよう」と言いましたが、もう一人は、「こんな吹雪の中で助けようとしても無理だ。こっちが死んでしまうよ」と言い、先に進んで行きました。残った旅人は、雪の中に倒れている人を持ち上げて、背負ってあげました。一人の大人を猛吹雪の中で背負って歩く事は大変でしたが、この人は一歩一歩前に進んで行きました。そのようにしてしばらく進んで行くと、再び雪の中に倒れている人がいました。それは先に進んで行ったもう一人の旅人でしたが、寒さの中ですでに死んでいました。倒れていた人を背負って歩いた旅人は、その後無事に村に着いたのです。人の支えになる事は簡単な事ではありませんが、そうする事によって自分も生かされるのです。